

ごんきや「終活カウンセラー」遠藤清子の

生き活きと

終活教室

終活カウンセラー 遠藤清子

七ヶ浜に嫁いできて、ごんきやに入社。以来21年、家族に寄り添うことを大切に、葬儀の仕事に従事。大震災を経て、皆様には後悔してほしくないとの終活への想いを深め、セミナーにも心を注いでいる。



第4回 テーマ

おひとりさまの終活

ではどうすればいいのでしょうか？その不安を解消するために、社会には「成年後見制度」というものがあります。例えば認知症で判断ができなくなった時に、介護のことや終末期医療のこと、また葬儀のことやお墓のことなど、本人に代わってそれぞれの専門分野に希望を伝えて手続きを進めてくれる制度です。この制度を利用すれば、誰に介護してもらいたい、延命措置はしてほしくない、お墓の継承者がいないので散骨してほしいなどの希望を叶えることができます。それに



終活セミナーの様子。みなさん熱心にメモを取りながら参加しています。

私は福島生まれで、幼少期は大家族で過ごしました。現代で10人家族といったら、テレビが取材にくるんじゃないかと思うくらいの人数です。40年くらい前はそれが当たり前で、祖父母、父母、兄弟姉妹（これも人数が多かった）、それにおじさん、おばさんなども同居していたりしました。ですから家族に不幸があった場合は、皆で部屋を片付けて葬儀の準備ができましたし、わからないことも誰かに聞けばいいという状態でした。しかし今はどうでしょう。核家族化がすすみ、

親と子が離れて暮らしていることが多く、年老いた夫婦のどちらかが亡くなると「おひとりさま」になつてしまいます。結婚年齢が高くなり、結婚しない男女が増え、未婚のまま年をかさねて「おひとりさま」となっている方、また様々な理由により離婚をして「おひとりさま」となっている方もいらっしゃると思います。そういう方は聞く人が周りにいないという状況にあります。

「おひとりさま」は誰に自分の亡くなった後のことを託そうかと迷います。財産の後始末のことや、誰が自分の葬儀を出してくれるんだろうと不安になります。そのため終活には早くから関心が高く、「おひとりさま」の終活はそういった不安から解消されたいという思いが強いものと思われれます。

実際、家族がおらず、身内といっても甥や姪にお世話にならなくてはいけないという方が多く、経済面で負担をかけるようになるので、頼みづらいという気持ちがかかります。だからといって、友人に頼むこともこれまで図々しいように思えて、頼みにくいことも事実ですね。

はご自分の希望や意思を前もってしっかり伝えておく必要があります。エンディングノートで項目を確認しながら話し合うと、スムーズに進められると思います。

「おひとりさま」は他人事ではありません。これからの超高齢化社会においては誰にでも起こりうることなのです。何か心配事があればどうぞお気軽にお問合せください。あなたは決してひとりではありません。

◎次号予告「家族葬ってなに？」

終活セミナーのご案内

日時：4月18日(月) 午前10時より
場所：セレモニア長命ヶ丘梓会館
仙台市泉区長命ヶ丘3-30-15

日時：5月23日(月) 午前10時より
場所：セレモニア長命ヶ丘梓会館
仙台市泉区長命ヶ丘3-30-15

セミナーに関するお問い合わせ (株)ごんきや多賀城支店 TEL.022-366-5151(遠藤)

※終活セミナーはお一人様でもグループ様でもお申込みいただけます。
出張開催もしておりますので、お気軽にお問合せください。



1815年創業
葬祭・仏壇・仏具・神具・生花・花壇・墓石

株式会社 **ごんきや**

塩釜本社：〒985-0043 宮城県塩釜市袖野田町24-2
仙台本社：〒980-0022 宮城県仙台市青葉区五橋2-8-14

☎ 0120-365-554